日米

THE JAPANESE AMERICAN
PUBLISHED DAILY AT
650 ELLIS STREET
SAN FRANCISCO CALIFORNIA
PHONE: PROSPECT 0238-0239
ENTERED AT S. F. POST OFFICE
AS SECOND CLASS MATTER
K. ABIKO, EDITOR & PROP.
SUBSCRIPTION RATES
IN ADVANCE
DAILY.....ONE YEAR..... $11.00
DAILY.....SIX MONTHS..... 5.5
DAILY.....ONE MONTH..... 1.0
SINGLE COPIES..... 5 CENT

日米

樞府と政治
老人の跋扈

【1】

不戦條約の『人民の名において』の字句から蟬を脱して、樞府の雲行きは頗る暗澹となり、樞府は手をかへ品をかへて、懐柔に苦心しつつあつたが、樞府でも最も厄介視された伯爵だけはさうやら、説き落らしく精査委員会に於ても、頑固の弊ひに似ず『明瞭の字句は妥当を缺く』と批准奏請に際して改めて留保宣言書を呈した故遵旨でない』旨を婉曲に表現して、曖昧にぼかしてしまつた。然しこれが本質的に出た時に果してそのまゝ通されるであらうか、また一波瀾を見ないでは止まぬであらうと臆測されてゐる。

【2】

右に就き民政黨は不戦條約の留保宣言は遵憲を實質的に認めたものであるから政府は當然その責を負ふて辭職すべきものであるといきまいてゐるらしい。現内閣は不戦條約に就てとつた手段は吾等も決して妥当なものと思はない。樞府にイヂメあゆられてもあくまでもカヂリ附きに狂奔するが如きは決してほめたことではないが、さりとて又民政黨が、自黨だけではこれを如何ともすることが出來ず、樞府にヂメあゆられることに快哉叫びはよくば樞府の手によつて内閣を倒してもらいたいと思ふ。況んや先年民政黨内閣がこの樞府によつて倒されたことを思へば猶更のことである。

【3】

政友會といひ民政黨といひ何れも民意を代表すべき衆議院にあつて何等爲す處なく、一部特權階級の代表團たる貴族院や老人の集合團たる樞府によつて是と左右せらるるが如きは、我憲法政治の發達上、い大に遺憾とせざるを得ない。日本の民衆果して何處に在るやまを云ひたくなるものがある。樞府が駄のごとく出しやばり出して我國政を左右するがごときは不埒千萬なことであつて飽くまでも彼等の非から鳴らし反省をもとめてやまぬが、一方既成政黨もまたイヂケなきに全くアキレるの外はなく、駄くらは何時までたつても眞の憲政政治は行はるべきもいでない。

趣味と同胞
日白人提携

趣味と云ふはふか道樂とよはうか。在米同胞社會には段々ここの方面が普及されて來た。スポーツ方面では野球、庭球、ゴルフ、卓球、籠球、その他陸上競技。なお之に興味するものが却て多いかしら趣味や道樂がなくては非常な勢で殺伐なる人間生活には何の趣味や道樂でも自己を慰藉するものである。殊に遠く故國を離れた異郷に於いては、その感を一層強ふする。所謂異士の寥寥もこの趣味や道樂のために大いに慰藉されるものである。なお趣味や道樂は自己を慰藉するのみならず他人にも大い慰藉を與へるの多くこの點からして日白人親善の實を挙げてゐるものが多い。たとへば寫眞であるとかローラーカナリーであるとかその他スポーツ方面に於いて實際に日白人提携して親善を行つてゐるものが多い。趣味を通じての日白人提携は比較的容易であり又入り易いものである。趣味道樂の普及に伴ひ一層この觀を強うするものである。

内閣に迫る改造の難關
閣僚間に暗闘亂れとぶ
床次氏の入閣に反對組の策動
日に險悪な政界の雲行

本社特約電通合同電報

(東京廿四日合同) 拓務大臣川、山本の三相は、接田中首相の新設と共に内閣改造の機運が久原氏引退の必要なる所以を力説したともいはれてゐる。しかるに首相はいまだこの關係者に對してもこれに關し何等の相談も持ちかけぬので自然閣内に漸次濃厚となつてきた上駐近に現内閣は不戦條約に就てとつた手段は吾等も決して妥当なものと思はない。樞府にイヂメあゆられてもあくまでもカヂリ附きに狂奔するが如きは決してほめたことではないが、さりとて又民政黨が、自黨だけではこれを如何ともすることが出來ず、樞府にイヂメあゆられることに快哉叫びはよくば樞府の手によつて内閣を倒してもらいたいと思ふ。況んや先年民政黨内閣がこの樞府によつて倒されたことを思へば猶更のことである。

一種の不安

が生じ暗々裏に改造に關する種々の策動が行はれるやうになつて來た。すなはち現閣僚中、まづ中橋、小藏相が他に轉任する場合は山本農相、勝田文相、中橋商相等が生じ暗々裏に改造に關する種々の策動が行はれるやうになつて來た。すなはち現閣僚中、まづ中橋、小藏相が他に轉任する場合は山本農相、勝田文相、中橋商相等は無心に内閣のイスをねらつてをり、前記曾における兩稿にきう〜たる有機であるから、こゝに改造の問題切迫するにつれて排形を傾遂して調整したものならば、こゝに明るみや周章狼狽して返つて修羅に敗受し、後石金は平穏に城東電軌直役大倉喜身氏の手に移行する模様である。

望月内相

相等は無心に内相のイスをねらつてをり、前記曾における兩稿にきう〜たる有機であるから、こゝに改造の問題切迫するにつれて排形を傾遂して調整したものならば、こゝに明るみや周章狼狽して返つて修羅に敗受し、後石金は平穏に城東電軌直役大倉喜身氏の手に移行する模様である。

藏相の後釜

同しく

をうかゞつてをり、前記曾における兩稿にきう〜たる有機であるから、こゝに改造の問題切迫するにつれて排形を傾遂して調整したものならば、こゝに明るみや周章狼狽して返つて修羅に敗受し、後石金は平穏に城東電軌直役大倉喜身氏の手に移行する模様である。

斷然引退

の引退を既定の事實とみて中橋商相、小川鐵相等は無心に内相のイスをねらつてをり、前記曾における兩稿にきう〜たる有機であるから、こゝに改造の問題切迫するにつれて排形を傾遂して調整したものならば、こゝに明るみや周章狼狽して返つて修羅に敗受し、後石金は平穏に城東電軌直役大倉喜身氏の手に移行する模様である。

宮田警視総監
潔ぎよく辭職
呉い金收受事件の責任を負ふ
後任は長岡社會局長

(東京廿四日電通) 警視総監に大臣の米國の軍縮方針は決定すると思はれるギブスン氏ロンドンにおける本人正式渡欧より金七萬八千圓を本人正式渡欧より金七萬八千圓を本人正式渡欧より金七萬八千圓を

郵船が南洋に新航路
南洋、上海内地間

(東京廿四日合同) 日本郵船は目下計畫中の南洋、上海内地間の新航路に關する模様である

モロオ大使健康勝れず
召還説起る

(ワシントン廿三日合同) 米大使モロオ氏は赴任以來多少過勞の氣味ある旨聞都よりの消息あり、フウバー大統領、スチムスン國務卿は非常に心痛し大使の要求なるも同氏を當分休養せしめるため一時召還説が高まりつゝある

けふ開く英國議會
勅語中に政策發表

(ロンドン廿三日合同) 英國議會は二十五日をもつて開會されるが皇帝は御病氣御靜養なるため尚書サンキー卿が勅語を代讀することになつてゐる。右勅語中に本議會での勢力、右勅語中に本議會での勢力、右勅語中に本議會での勢力、

在米同胞の家庭へ

不良少年と其家庭

大阪博愛社嶺鮮

細田竹子

（二）

私はこの問題につき實際に研究したことを年篇に世上に發表し皆様の御參考にしたと思ふのであります皆様の御家庭はお子供様にとつて實に如何樂しい平和の御家庭であることと存じます。

しかし萬一皆様の御家庭においてこの不良少年と類似するやうな點がありますなれば直に改めていただきたいと思ふのであります。

私は日々不良少年と親食をともにしてその感化につとめた者であります。もつともこのうちには警察署からあるへは少年審判所からまわされる者もありますが私は二日々に接してゐる子供に不良少年があるとは少しも感じたことがありません

一體どんなものでも子供ふのものは環境に可塑性のものであります過去のすべてを忘れて嬉かとしてとびまはつてゐる姿を見るときに誠に子供ほど純潔なものはないとつくづくと感じさられるのであります。子供は性來無邪氣で非常に純なものですから生活落なり不良兒になるのはどうしてであるかと申ますなれば第一には家庭の不良なるためであります第二にはその子供の周圍があまりに悪いから純なる子供の心にすら感染するからであります故に不良少年そのもの性質が先天的にわるいのではなくこの子供の環境が悪いからであります。私が子供の身の上にふかい同情の涙をそゝぐのであります。實に私は嘆ずるのであります。私が子供の身の上にふかい同情の涙をそゝぐのであります。實に私は嘆ずるけもちの不良兒の親たちに面會したことがありますが、その折に兩親はたいがいのお方曰く「私は自分の惡かつたことは申されません子供だけの惡事のみを申されるのであります。こんな親に面會すると私はすぐ非常に腹立たしい思ひがいたします、世の中は親子の間柄でもこんなに責任を他に嫁せなくてはならないものであります。實に不快な氣もちになるのであります

修道院副院長

青年社會事業家

北村孝義氏來桑 社會事業大會出席に

州の建築 二ケ年間に一千萬弗を

（サクラメント廿四日）今後二ケ年間に一千萬弗の巨費を投じて州の諸建物を建築するさうだが、この大仕掛な計畫は大部司令官ブラムウエル、プース大將の発議に出でたものである。

日本の社會事業は監獄の改良から

四十三年典獄の職に奉仕した有馬氏談

大會で日本社會事情報告

社會事業大會日本代表者の一人の内務卿大久保利光氏に提出したる四十三年間典獄生活をしてたといふ元典獄財團幼年保護所理事有馬四郎氏は今息横濱家屋監獄長有馬純彦氏同伴大洋丸で來桑した。氏は日本の監獄、社會問題に關して左のごとく語つてゐた。

「人生五十年といふが君は四十三年間といふ殆ど一生を監獄に在り多くの罪人を相手に生活してゐましたが

過去をかへり見ますと

日本の社會問題の發達といふことが最も明らかにわかつて來ます一體日本における社會問題の發達は監獄から起つたことで明治初年

日本宗教界の恩人

ベレー宣教師

が日本を訪問し日本の監獄を觀察してその感想を文書にして時となつてゐます

内務卿も

**さもに日本社會事業發達史中の一異彩でなければならないのです、しかしこんなことは世間ではあまり知つてはをりません、かくのごとく日本の社會事業は、一宣教師によりて點火されたのですが社會の出來事の終局は監獄であることよりこれに對する入監者の防止出獄者の保護いづれも相まつて社會問題として主要なるものであります自分も過去の生活經驗から今度帰朝次第これ等の人々の保護事業を開始することはわだが、尤も犯罪時が丁年未滿だつたと抗議してゐるので或は減刑を見るに至るかも知れない。サクラメントの愛人殺し フロチー、ボーガのブチキーボーイを殺したクリー、王府銀行で強盜殺人した三名の囚人等もこ

救命運動に

全力を注いでゐる。最高死刑宣告を受けたベレーに於て農業教演法案、十

しノースコフトである。まの以上の囚人等は大體死刑は免れまいが、然し救命運動も執行日の接近で漸減、なるであらうと。

赤裸々の故國事情

今晩大講演開催

リホームド教會に於て午後八時一般來聽歡迎

辯士は社會事業代表者

米國社會事業大會は愈々明日より市において開催されることになつてゐるが北加基督聯盟ビルへ出張し、二十七、八、九日はモンテレーに於て農業教演法案、十代表者並に先着の諸代表十數名を迎へて本日午後六時より昭和樓において歡迎晩餐會を開催し引續き午後八時よりポスト街ホームド教會に於いて大講演會を開催し大會に出席する前に

各代表の氣勢を挫くべ

辯士と演題

一　日本社會相の表裏　元典獄　有馬四郎助

一　失業問題に就て　神戸社會課長　木村義吉

一　日本の少年保護の現狀　大阪裁判所判事　小岩井久平

一　日本婦人と教育問題　聖心女學校　クロ

瀧本書記長

けふワツソンビルへ出張

廿二日土曜夜ワツソンユーに出張講演を試みし瀧本在員書記長は、今二十五日はワツソンビルへ出張し、二十五、六日を同地で、二十七、八、九日はモンテレーに於て農業教演法案、十二、十三、十四、十五日は生徒の講演と、桑港、サンノゼ、ロスアンゼルスに歸着の豪華なる日程を組んでゐるとよし。

更に集つた八百餘點の出品

車駕絡繹の學藝展

桑港日曾主催學藝品展覽會への出品は、屬報のごとき盛況を呈してゐるが、その後（廿二日迄）到着の分は左の通りである。

▲桑港協和學園　圖畫二〇點

書方一一　綴り方一三　生徒合作圖學園デザイン附サインボード

▲奈良一尋常高等小學校

書方一八　綴り方一二　圖畫三五　手工畫八

▲布哇オアウ島カワイロア日本語學園　綴り方一八　繪畫一四

▲同ハレイワ大正學校　畫五　書方一四五　兒童心の表現五七

▲同カフイ日本語學校　圖畫二五　綴り方四一　書文一三　手藝品一〇

▲同ワイアルア學園　書方八二　圖畫一八九　手工押し上げ繪細工一

▲同マウイ島ワイルク學園　硝子版繪畫一　圖畫一六　綴り方四三

以上七校合計八百六十六點、なほ右のうち最も興味のあるは、ハワイ、ハレイワ大正學校長宮本文智氏、生徒に書かせた一十十問「日本着物縫はすきか嫌か」答「すきですがむつかしいです」

問「好きな課目」答「よみかた、さんじつ」

問「嫌ひな課目」答「修身」

問「何のため日本語を學ぶや」

答「よい人になる爲め」

問「日本語は好きか嫌ひか」

答「すきですが時々むつかしうございます」

問「日本人の缺點」答「じかんのきまりがわるい」

問「日本人の美點」答「日本人はからだをきれいにしてゐる」

問「日本人着物縫はすきか嫌ひか」答「すきですがむつかしいです」

問「何の爲に日本語を學ぶや」

答「親にてつだいするのおやこうーーです」

問「日本人の美點」答「日本人はからだをきれいにしてゐる」

問「日本人の缺點」答「じかんのきまりがわるい」

問「日本着物縫はすきか嫌ひか」答「すきですがむつかしいです」

問「日本語は何の爲に學ぶや」

答「よい人になる爲め」

問「嫌ひな課目」答「修身」

問「好きな課目」答「よみかた、さんじつ」

問「何のため日本語を學ぶや」

答「よい人になる爲め」

問「日本語は好きか嫌ひか」

答「すきですが時々むつかしうございます」

問「日本人の缺點」答「じかんのきまりがわるい」

問「日本人の美點」答「日本人はからだをきれいにしてゐる」

問「日本人の缺點」答「じかんのきまりがわるい」

問「日本着物縫はすきか嫌ひか」答「すきですがむつかしいです」

問「何のため日本語を

桑港市況　六月廿四日

暑さ依然去らず　農産市況は好況

但し一部野菜は軟調だ

週初の摩滅果野菜市況は取り引きは極めて活潑で、市價も總じて強硬であつたが、然し何か暑さが去らないので、クックを要する一部野菜、例へばアスパラガス、スコワシュ、ビーの如きは軟調で可成荷を見た。

ストロベリー

優品は賣ゆきよく相場も一弗五十仙から一弗七十五仙、二弗まで呼んでゐたが、品質劣惡なものは賣れゆき悪く九十仙處でも買人つかず、可成荷を見き數字が出てくるとたラスベリーは一弗五十仙から一弗七十五仙處まで

メロン類

キャンタロープは帝原より五貨車の入荷あり、標準物三弗五十仙から四弗、クロンボー三弗五十仙から四弗五十仙、フラット一弗五十仙處をよんで賣れゆきよく、ハネデュー上物三弗二十五弗。ウオーターメロンは上物四仙半から稍に五仙で八貨車の入荷はすぐ賣れ切れ市況は極めて強調であつた。

トメト

七貨車の入荷があつたが、賣ゆき良好で、ラグ二箱五十仙から二弗八十五仙處まで

セロリー

南加ベニス物三貨車の入荷があつたが賣ゆき良く品薄傾向で相場は五弗二十五仙から六弗までで

キユカンボー

南加もの一箱廿仙から一弗廿五仙まで、中加もの弗々出荷一箱二十五仙から一弗七十五仙まで

スコワシユ

サンデーゴーものの入荷が非常に多いのに賣ゆき拂々しからず五十仙から七十五仙まで、ローカルのマセドもの七十五仙まで

レタス

上物は一弗五十仙から一弗六十五仙の高値で賣れるが劣惡品は一箱處賣れゆきは良好だ

アスパラガス

ビー等は市況悪く多少の殘荷を見たが、前者は餘程の上物でボンド四仙から稍に五仙まで、ビーはコースト産上物三仙から三仙半、サウク一弗、安価である

果實類

エツプリカツト

入荷多く賣ゆきも毎日だが、相場は一箱から一弗廿五仙

チエリー

入荷多からず、五仙から極上物は十五仙までをよぶ

アツプル

縮現物にあるので、ニユータウン氷量もの四タイヤで二弗廿五仙から三弗まで、アストラカンものラグ五十仙から七十五仙で市況は強調

桑港市場　六月廿四日

果物相場　標準卸値

	單位仙
フランス、カナダ、オランダ等アスパラガス	打
キャロツト	打
アツプル	打
ラデシユ	打
青蘆	ラグ
カリフラワー	南加
キャベーヂ	百斤
ナス	封度
ガーリック	斤
レタス 地方物	打
アニオン 白	牛袋
赤	袋
黄	袋
牛月薯	斤
ポテト ワシントン	袋
ユスタック	封度
ビーツ	
袋入野菜	
キャロツト	
トアニアプ	白
ルーバーブ	箱
スピニチ	
アスパラガス クレート	
スクワシ ラグ	
ビーポテト	斤
トマト ラグ	
帝原 クレート	斤
マシルーム クレート	
セロリー	封度
ビズモ	
ラグ	
キウリ	

	單位仙
ポンチ物 ビーフ	打
アスパラガス	打
キャロツト	打
アツプル	打
ラデシユ	ラグ
青蘆	南加
カリフラワー	百斤
キャベーヂ	封度
ナス	斤
ガーリック	打
レタス 地方物	打
アニオン 白	牛袋
赤	袋
黄	袋
牛月薯	斤
ポテト ワシントン	袋
ユスタック	封度
ビーツ	
袋入野菜	
キャロツト	
トアニアプ	白
ルーバーブ	箱
スピニチ	
アスパラガス クレート	
スクワシ ラグ	
ビーポテト	斤
トマト ラグ	
帝原 クレート	斤
マシルーム クレート	
セロリー	封度
ビズモ	
ラグ	
キウリ	

	單位仙
乾果實	三九、六一四
鏈結果實	三二〇〇二五
鏈結鯛	六、五二二
同魚	七、六六二
レツドウツド	三、三四七
チンドミルク	九三
一四、〇六六	二九
アヤハルト	
九、七七九	二七

桑港檀出比率

	七二
乾果實	六七
鏈結果實	五五
鏈結鯛	五五
同魚	三四
レツドウツド	九三
三、三四七	二九

蒼白き薔薇（一三二）

分れ路に立つ（三）

中村武羅夫作

ゆり子はいつまでも見たかつたし、眞暗な穴の中にはいつてゆくのが、何だか氣味が悪くもあつた。

「僕はあなた次第です。」と、佐野は微笑してゐた。

「では、折角ここまで來たんですから、はいつて見ませうか。」

「はいりますか。」

ゆり子は、男でも女でも躊躇するところなく、ずん〳〵はいつてゆくのを見ると、やつぱり自分もはいつて見たいやうな氣がした。殊に、佐野と一緒ならどんなところへ行つても、怖いはずはないと思つた。佐野さへ信賴してゐれば、大丈夫だといふ氣がした。

岩屋の中には小さなほこらがあつた。奥に行くほど眞暗になり、頭の上が低くなつて、身體をこゞまなければ歩くことが出來なかつた。あるところでは、岩の間からほそ〳〵と蔦れるしづくが、頭や首筋に、冷やりとふりかかつて、はつとして脅かされた。白い着物を着た案内者が、ちうそくをつけて先に立つ。調子をつけて說明する聲が、ちうそくの光りが搖らめくのに、陰鬱な感じがして氣味惡かつたゆり子は思はず佐野の身體にぴつたりと、より添ふて歩いてゆるうちに、外の明かるいところにゐる時よりも、もつと〳〵佐野に對して頼もしさを感ぜずにはゐられなかつた。彼女は、いつの間に佐野に對して、こんな深い信頼を抱くやうな氣持ちになつてゐるのだらうと、自分でも驚外な氣がした。

「あら。」

ゆり子は、足もとがくらいの中で、小さな石につまづいて、危なく身體が前にのめりさうになつたゝき、思はず低いながら驚きの聲を發した。

彼女が思はず驚きの聲をもらした時には、彼女はわれにもなく、佐野の腕につかまつてゐた。

「どうしたんです？」

佐野の顔が心配さうにふり返つた時には、彼の兩手はゆり子の身體をやさしく抱きやうにしてゐた。

「何でもないんです。ただ、ちよつと、小さな石につまづいただけです。」

さういつた時ゆり子はいつの間にか自分が、佐野の兩手にやさしく抱かれてゐることに氣がついた。始めに小石につまづいて、危くころびさうになつた時、自分が突差に佐野の腕につかまつたことを思ひだした。ゆり子は顔が燃ねるやうに熱くなつて來ることを、感ずずにはゐられなかつた。

だが、あたりがくらいことは、ゆり子のために、せめてもの仕合せだつた。自分が佐野の腕につかまつたことも、また佐野の兩手にやさし〳〵抱かれてゐることも、顔が火のやつに真赤になつたことも、たれにも見られなくてもよかつたから。

案内者のちうそくの光は、だんだん遠ざかつて行つてしまつてゐた。

「それではそろ〳〵ゆきませうか。」

佐野も、突差に何の氣もつかずに、ゆり子の身體を抱いてやつたのに違ひなかつた。彼は際立つたいやうに、極く自然な態度で手をはなしていつた。

「ね。」

ゆり子は、かすかに返事をした。

「まつくらですからですから、氣をつけないと危いですよ。」

佐野は何度も〳〵振りかへつて注意した。

まつくらな中を、足さぐりにやつと歩くので、案内人が棒つてゐるちうそくの光さはだんだん距てるばかりだつた。案内人が說明する聲だけはかすかに聞こゆるけれども、きつと岩屋の中が屈曲してゐるせいだらう。ちうそくの光は、もう見えなかつた。

ゆり子と佐野さは、完全に二人だけで、まつくらな中に殘されてしまつた。

二人は無言で、足さぐりながら、ぴつたりと身をよせて歩いてゐたが、いつの間にか、きちからかともなく手をとりあつてゐた。

それは、ともすればつまづきさうで、足もとが危なつかしいせいばかりではなかつたさらうゆり子はかなりあるいてゐるが、なかなか明るみに出られないやうな氣がしたが、このまま野に對して、こんな深い信頼を抱くやうな氣持ちになつてゐるまいつまでも出られなくても、いいやうな氣もした……。

まつくらな穴の中から、急に日の光りがかつさまぶしく照りだして、其効果は不思議に催かず半月位で、ゆり子は、紀なくなんとなく、今迄にない力强さを感じて參りました。

の。不思議な快方への經過に驚いてゐられました。光は斯ふして私を訪れ出かも頭布になり、月を過ぎる頃は熱の變化も殺ぐ、タン、狀は、次第に消へて行つて、毎日體の力が加はつてゆきました。

それ、その嬉しさ樂しさは、さても言ひ盡されませんでした。斯く惠まれ私は、前よりも夫なる母の慈愛の有り難さ「獅のキモ」の舞くべき効果、悩める病友にこの感謝の心をたゝ傳へ下さい

療養辭典「悩める病友（一）」全快の秘訣」「食物、寢具、肺病治療上の、あらゆる知識と注意さを最もわかり易く心からの親切と同情さを以つて記述した「全快への一路を正しく示す貴重な小册子現品と共に退用法を添へ贈早數します。

一頭分、廿弗〔均一〕で御送り致します。「一々内臓の一部と共に、三十日服み、廿弗〔均一〕で御送り致します。「一々内臓の一部と共に、三十日服み、廿弗〔均一〕で御送り致します。

品原物、一ヶ月間飲用の責任保證所、郵稅不要、不仕、C.O.Dの御需に應じます

北米一手取次元　T. NAKAMURA　P.O. B. 925 Rock Springs, Wyo

南加取次所　波多江商店　S. HATAYE　130 N. Sanpedro St. L. A. Cal.

北加一手取次店　櫻府日本藥舗　NIPPON DRUG CO.　201 L. St. Sacramento, Calif.

米國人のケーキ　消費高

一ヶ年十三億弗

米國農務局内ベーカリー專門家が、スコワシュ、ビーの如きは軟調で可成殘荷を見た。

優品は賣ゆきよく相場も一弗五十仙から一弗七十五仙、二弗まで呼んでゐたが、品質劣惡なものは賣れゆき悪く九十仙處でも買人つかず、可成殘荷を見き數字が出てくるとたラスベリーは一弗五十仙から一弗七十五仙處まで

ホテル、レストラン、鐵道會社、汽船、病院その他二億八千五百萬弗

家庭主婦の製造高約七億一千萬弗

合計　十三億〇五百萬弗

アツプルの加州在荷

一九二九年六月十五日現在の冷藏庫内加州のアツプル在荷高は十萬六千八百六十七箱で五月末現在の二十萬一千六百六十九箱に比すれば著しく減じてゐる

アニオン在荷

加州内の冷藏庫にあるアニオンの在荷は、六月十五日現在で三百五十三サツクで昨年度の同期には二千四百五十三サツクに上つてゐた

ボ　ー　ト

加州内冷藏庫のポテト在荷高は六月十五日現在で十萬五千六百八萬六千百七十八サツクであつたが、著しく減少を來してゐる。

レタースの加州出荷數

華州及加州各地のレタース出荷は左の如し

	北加	華州
六月十一日	八一	四四
十二日	八〇	三五
十三日	七九	三一
十四日	一一	三〇
十五日	二〇	三〇
十六日	九五	六三
十七日	一〇七	三一
十八日	一〇〇	三〇
十九日	一〇五	二〇
二十日	一〇〇	二五
廿一日	一〇二	一三

乾果實の輸出高

桑港が七割

商務省内の内外通商局から發表を見たところでは、一九二八年日蓮上人の慶委の像だとか、胎内にか自分が、佐野の兩手にやさしく抱かれてゐることに氣がついた。

「何でもないんです。ただ、ちよつと、小さな石につまづいただけです。」

さういつた時ゆり子はいつの間にか自分が、佐野の兩手にやさしく抱かれてゐることに氣がついた。始めに小石につまづいて、危くころびさうになつた時、自分が突差に佐野の腕につかまつたことを思ひだした。ゆ

種子　卸小賣

特撰　カリフラワー

早生スノーボール　ニューヨーク

レタス　ニューヨーク

スペシヤル古種

其他目米各種子

説明附特價表　無代進呈

ホリスター種子物園

山中丈吉　調主

Hollister Seed Co.

P.O. Box 108 Hollister, Cal.

資本金一億圓　株式會社　三井銀行

海外特別當座預金

利率　年四分五厘

本預金は在外各位の爲め特に設けたる御便利なる預金にして左記如き特長利益有之候

(一)利息は定期預金等と同じ割合にして毎年五月十一月の二回に計算可致候

(二)通帳を使用するを以て御出し入れ共自由にして而も五ケ年間書替の必要無之候

本預入は銀行爲替又は郵便爲替にて御送附被下度候

(三)預金取扱店は横濱、神戸、廣島、下關、門司、福岡、長崎の各支店に限り申候

▲本支店出張所々在地

東京　本店　日本橋＝丸之内（東京市）

小樽　名古屋　京都　廣島　門司

横濱　神戸　下關　福岡　大阪

大阪西　大阪堂島　大阪川口　若松（福岡縣）

長崎　紐育　孟買　倫敦　漢水（朝鮮）

紐育支店　61 Broadway, New York City N.Y.

大阪藥店

公認調劑　郵送無料

有効　本藥　朝鮮人參　原一本三弗　物より十弗　五〇〇　活力系二〇〇　五、〇〇〇　强精錠五〇〇　二、五〇〇　金鶴三五〇

確實　通經丸　特製　五弗　强力　十弗

種々の藥を用ひて効果なくて困りの方は早く此安全無害の通經丸を用ひなさい

機能發育器　八弗　十四弗　十八弗

機能障害治療唯一の器械

治療　ゴツタール　名物十錢見　五弗

安全　殺菌座藥　三十回分　二弗　九十回分　五弗

此藥を內服すれば外用藥なく急性、慢性の淋疾を速に根治す

疝痛　身體に何等の害なく體温により二三分間にて溶け、確實に其目的を達す

創製　毛生藥玄華　二百錠　七弗

桑港郵便局前一五九四電話ウエスト一四二五

OSAKA DRUG CO.

1394 Post St. S. F. Calif.

ベビーさんの王國

ベビーさんのスタイル・センター

ベビーハイエア　十弗

マホガニー・フ井ニツシユ車付、リードシーツ

ベビーストローラー　六弗五十仙

五吋半のゴム輪付、ライトブルーにクリーム色の配合

ベビーウォードローブ　十弗

タツプ一六×一六、高さ廿三吋

ベビーキャリーヂ　廿五弗

ファイバー製、サイドウ井ンドー付、ウツドフ井トル、バルーンタイヤ、アヂヤスタブルバツク、内部は全部コードユロイ張、クリーム色に塗上げハンドルはマホガニーフ井ニツシユ

ベビーバスタツブ　五弗

二八×一八吋半、廿八クオート入、ホワイトエナメル三度塗、ストレイトサイド

ベビークリツプ　十七弗五十仙

二九×五三、高さ四十五吋、ウオーナツクフ井ニツシユ

ベビーマトレス　五弗

シモンス製十六封度、クリトンカバー

皆様の　帽子專家

231 E. First St., Los Angeles, Calif.　Phone VA（ヴアンダイク）0607

肺病に呪はれた私が輝く幸運をつかむ迄

廣島市福島町九九　森岡三千代

怖ろしい死の影に追はれ、暗い呪はれた生に喘いでゐた私が、この昭和の御代に甦つて、皆樣へのお便りを書かせて頂くなどは、何さいふ、幸運でしよう、ただ感謝ただ涙です。それで、悩み、苦しみ、悔いふ、恥ずかしい思ひしつゝも、嘗て私の歩いてきたあの道、苦しみの悦びを、現在も知らせ申上ねばならぬさ思ひ、決心しました。……私の肺患は進んでしまつたのです。諦めましたが、藥、注射、療法も及ぶ限りのものは、盡りつくしてゐるさ思ひました。迷はされる療法へもひかれてゐるこの病友に、こうして暗い死の影に呪はれて居る私を再生の光に救つて下さつたのは、藥しみ深き、母の愛、母の手に入つた肺病の特効藥、奇蹟的に私を全快へ導いた「獅のキモ」でした。母は初効物、奇蹟的に私を全快へ導決心した程は私に秘して、それを服用させたのでした。母の手づかゝるなる新しい水藥？　私はただすゝめられるまゝに服して居たのでございます。それを服して居て、「キモ」を遠くしてタ位で、「キモ」を遠くしてタ位で、ゆ力强さを感じて參りました。

月を過ぎる頃は熱の變化も殺ぐ、タン、ネアセさの症狀は、次第に消へて行つて、毎日體の力が加はるようにて、眠用一ケ月、それ、その嬉しさ樂しさは、さても言ひ盡されませんでした。斯く惠まれ私は、前よりも夫なる母の慈愛の有り難さ「獅のキモ」の舞くべき効果、悩める病友にこの感謝の心をたゝ傳へ下さい

療養辭典「悩める病友（一）」全快の秘訣」「食物、寢具、肺病治療上の、あらゆる知識と注意さを最もわかり易く心からの親切と同情さを以つて記述した「全快への一路を正しく示す貴重な小册子現品と共に退用法を添へ贈早數します。

一頭分、廿弗〔均一〕で御送り致します。「一々内臓の一部と共に、三十日服み、廿弗〔均一〕で御送り致します。「一々内臓の一部と共に、三十日服み、廿弗〔均一〕で御送り致します。

品原物、一ヶ月間飲用の責任保證所、郵稅不要、不仕、C.O.Dの御需に應じます

北米一手取次元　T. NAKAMURA　P.O. B. 925 Rock Springs, Wyo

南加取次所　波多江商店　S. HATAYE　130 N. Sanpedro St. L. A. Cal.

北加一手取次店　櫻府日本藥舗　NIPPON DRUG CO.　201 L. St. Sacramento, Calif.

南加版

電話 MUseum 八四一五

三千弗の經費で 中央農業組合組織

共同販賣を直營せず 農家の幹旋するだけ

農産物仲買手數料値さげ實行委員會は昨夜二十二日午後二時から富士ビルにおいて開催されたが出席者は二十五名の役員中北崎（ノーオーク）宮田（ビスタ）平林（ガーデナ）中瀬、乾（ポイナセ）浅邊、的場（モンテベロ）北田、西津（アナハイム）及竹友の諸氏であつた。まづ甲斐氏は仲買人側との交渉顛末を詳細に報告し是非能率自身を擁護するには有力なる組合の組織が必要であると力說し仲買人に右協議終了し役員の選擧に移り左の諸氏が當選した。

北田　貞一
甲斐敬次郎
平林　直治
北崎千三郎
乾　一精

同　會計

チワナの某日人經營ホテルにボーイとして働いている山口次郎（假名）は去る十六日夜お客なるポイナセ州フィトランドの百萬長者マデラクス夫人がビーロ——に酔つ拂つて歸つて來たので介抱してルームへ連れこむ際、女ながらも大力無雙のマデラクス夫人は山口を突っぱねた上、一とたまりもなくひつくり返り、はづみを喰つて隣室から眞つさか樣に轉がり込み眼部をその他に傷つき車不省に陥りサンディーゴ病院に入院中であるが、夫人は山口を訴訴した。

女に突き飛ばされ 二百五十弗で泣寢入

醉つぱらつた百万長者

舞踊と常盤津の名人 日野元子さんが來る

羅府に滯在して常盤津宣傳

伊藤博文公の知遇をうけた吉原本籍のまな娘日野元子——といへば昨年暫く羅府に滯在して南加に知人も少なくない舞踊の名人、ニューヨークから大西洋をわたり歐國して松竹座、帝國ホテルに出演、去る八日横濱出帆の太洋丸で再び羅府に來ることになつた。元子さんは今度常盤津の家元文字兵衛さんから「文字なかの」の名取りを許されたので沿岸にはめづらしい江戸子の心意氣を宣傳するよし來る

フレスノ（廿三日）

スカウト制服で羅府へ徒歩旅行

歸途海岸線で桑港へ 米國生れの青年元氣

[illegible]

盛大なる披露宴

[illegible]

デルレー

▲修業式および學藝會 昨夜豫定通りデルレー學園修業式が挙行され來會者二百五十餘名の多數に達したが學力優等品行方正の男女七名、無缺席四名、缺席一日のもの二名、無缺席及缺席二日の學藝會も四十餘種のプログラムをもつて一週間モントレー基督教會の[illegible]

ボールス

▲卒業生招待 金曜（廿一日）夜（既報）の第一回コフミ、男青正直市、女青新川コフミ、男青正直市、女青新川コフミ、男青正直市、女青新川

サクラメント（廿四日）

炎暑百五度 溺死者救助さる

エッチ街鐵橋近くに電話の設備ないのが問題

暑氣の暑氣は百一度から毎日一度づゝ上つて昨廿三日は百五度の酷熱で誰しもこれが絶頂と思つてゐたのに昨

A Newspaper For All Peoples Interested in the Welfare of Japan and The Japanese People

The Japanese American News

THE LARGEST JAPANESE NEWSPAPER PUBLISHED OUTSIDE OF JAPAN

The Largest English Section Published Daily by Any Japanese Paper On This Continent

NUMBER 10652. Entered at the San Francisco Post Office as Second Class Matter. SAN FRANCISCO, CALIF., TUESDAY, JUNE 25, 1929. Copyright 1928 By The Japanese American News Per Month $ 1.00 Per Year $11.00

FIGHT IS ON TO PUT BAN ON MEXICANS

Restriction Is Also Proposed On Filipino Migration

From the Berkeley Gazette

SACRAMENTO, June 24—California is once more leading an offensive against invading hosts of cheap labor—for the third time in history.

The first drive was directed against the Chinese in 1882. The second barred the doors of America against Japanese laborers in 1924. Today California is attempting to restrict toilers of two other races—the Philippine and the Mexican.

Along with this latest campaign is the beginning of an effort to tighten lines along the Southern border against the smuggling of Orientals from Mexico. Chinese and Japanese are said to be pouring across the border at an alarming rate.

Congress has been requested by California to aid the fight, in two resolutions passed by the recently adjourned State legislature. One urges the Federal law making body to place Mexico under a quota system and the other asks restriction on Filipino immigration. Organized labor forces of the State approved these resolutions and are actively joining the struggle.

Statistics show an alarming increase in the number of Mexican laborers in the United States. In 1890 the number was 77,000. Today it is estimated at 1,500,000. In the past eight years 400,000 came into the country legally, with authorities agreeing that probably that many more came in illegally.

L. A. COSTS CITED

Social workers in the state have encountered a serious problem in the Mexican situation. Hospital care for Mexicans alone cost Los Angeles County $330,000 in the past two years. In that same county 40 per cent of all venereal cases treated by charity were Mexicans. Mexican crime alone cost California $5,000,000 in one year according to State criminal officials.

Filipino immigration is under no restriction and is said to be constantly increasing. In a survey conducted by the State Federaton of Labor a total of 50,000 were found in Pacific coast states, with 30,000 Filipinos in California alone.

Most of the Filipinos came to the Pacific Coast from Hawaii, where they are imported by contract to work on sugar plantations. Filipinos are Mongolians under a State ruling and consequently cannot marry white persons. They cannot become naturalized under this same edict.

Japan-Made Cinema, 'Kyoto In Time of Restoration,' Given Ovation In Moscow As Notables Attend First Performance

MOSCOW, June 24—A Japanese motion picture, "Kyoto in the Time of the Restoration," received a favorable response when it was presented in this city as the first Japanese film to enter the Soviet Union.

The showing of this period drama, which was filmed by the Shochiku Kinema Corporation of Japan, was made the occasion of an international ceremony of friendship in which several notables in the diplomatic and political life of the Capital took part. Chairman Kamenief of the Russo-Japanese Friendship Association and Prof. Conrad, famous Leningrad scholar of the Japanese literature, both gave a lecture on a phase of Japanese life and art. Ambasador Tanaka, Japan's envoy to Moscow, was also present.

The film is a fast-moving romance in the stormy days of the Restoration when the forces for the retention of feudalism was in conflict with the faction that advocated imancipation of the country on the standards of the West. The picture was given warm praise, and it may be the precursor of many other Japanese films here.

CITIZENS TO ISSUE PAPER

Iwao Kawakami to Be Editor Of 4-Page Bi-Weekly

With the view to informing its members on the activities that are being carried on in the name of the league, the New American Citizens League of San Francisco will launch upon the publication of a bi-weekly organ next month, it was announced yesterday by Saburo Kido, president.

Iwao Kawakami, frequent contributor of The Japanese American News, will assume the managing editorship, and he will be assisted by a staff of capable assistants. The business manager will be elected shortly, and the first issue is expected to make its appearance about July 15.

The publication will be a bi-weekly affair at first, but as necessity arises and the staff gains experience, the pages may be increased and the paper may be converted into a weekly.

Nogi Acclaimed Greatest Leader By Japan Youths

TOKYO, June 24—General Count Nogi, who captured Port Arthur from the Russians in 1905 and seven years later followed his Emperor in death by harakiri, is "the greatest man that ever lived" by vote of 600 youths who sought work at the municipal employment office and were questioned about their heroes. Napoleon was first and Lincoln second among non-Japanese.

L. A. HOSPITAL RITES HELD

Leading Japanese Attend Ground-Breaking Ceremony

Special to The Japanese American News

LOS ANGELES, June 24—Ground breaking ceremony for a new and imposing Japanese hospital in Boyle Heights was undertaken Wednesday noon with appropriate speeches by leading local residents.

Rev. S. Morioka, of the North American Shinto Church, officially opened the ceremony as the presiding officer. Dr. Karaki, chairman of the building committee, spoke a few words on the benefits the hospital will render the community. He was followed by Y. Shimanouchi, editor of The Los Angeles Japanese American News, who congratulated the sponsors for their public-spirited enterprise.

STATE FILES APPEAL FOR NEW TRIAL

Will Take Alien Land Case to U. S. Court If Necessary

SACRAMENTO, June 24—In a last grim effort to uphold the 1927 amendments to the anti-alien land law, the state will fight the case through the California Supreme Court and, if necessary, carry its arguments to the federal supreme tribunal.

Seeking an upset of the recent ruling the Third District Court of Appeal, Deputy Attorney General J. Charles Jones today had on file in the State Supreme Court an appeal of the Sutter County case against K. Osaki and K. Yoshioka, charged with violating the law by concealing their nationalities in securing control of rice lands.

The appellate bench reversed the Sutter County decision finding the men guilty, on the ground that the 1927 amendment throwing burden of proof of nationality on the defendant is unconstitutional.

Denied a rehearing, Jones appealed.

'BURGLAR' IS A THRILLER

Sau Mateo Blue Jays Present Stunning Benefit Show

Special to The Japanese American News

SAN MATEO, June 24—Sincere in every effort they make, the Blue Jay Club girls scored a huge success in the third annual benefit given Saturday night in the Junior College Auditorium.

Lack of scenery and other stage equipments, which handicapped the players somewhat in this production, in no way detracted interest in the program of the evening, which was well performed.

The auditorium was packed with a large crowd of Japanese and few American spectators. The audience was taken by a pleasant surprise when they saw the capable performances of the young actresses.

"The Burglar," a mystery thriller, was the most popular offering. Misses Naomi Tanaka and Grace Takahashi were outstanding among the many promising players, while Misses Nellie Kikuchi, Tsuya Takahashi, and Fumi Imazu enacted their roles adequately.

Another interesting act was "The Quest of the Gypsy," in which the Misses Nakashima and Masako Takahashi played the leading roles.

They were supported by: Grace Takahashi, S. Yamaguchi, Nellie Kikuchi, Sei Kashiwaji, Yayoi Adachi, Tomiko Ito, Naomi Tanaka, Fumi Imazu, Hatsuko Fujiwara, Kiku Nagasawa, Martha Tanaka.

"The Novelty Dance," a combination of tap and classical dances, attractively done by a group of five girls consisting of Yoshi and Misses Fumi Imazu, Naomi Tanaka, Nellie Kikuchi and Grace Takahashi.

An interesting play, on the program was "Ema Lou's Vision," written especially for the girls by Mrs. T. Yamamoto. It was presented by a cast consisting of:

Martha Tanaka, Yayoi Adachi, D. Nakajima, Sei Kashiwaji, T. Kashiwaji, Elizabeth Kusaka, Suye Sato, Kimi Hasaka, Kiku Nagasawa, Haruko Yoshida, Siko Yamada.

Miss Stella K. Sato deserves much credit for the success of the show. Her direction was worthy of commemoration, considering the short time she has rehearsed with the girls.

Bride-To-Be

This is the latest photograph of Princess Kikuko Tokugawa, fiancee of Prince Takamatsu, whose wedding will take place in March next year, followed by a honeymoon trip to England in May.

PAIR IS SET FOR NUPTIAL

England To Be Scene Of Honeymoon In May, 1930

Special to The Japanese American News

TOKYO, June 24—Japan, a land where the affairs of its royalty is of great interest to the people, will rejoice from one end of its lengthy domain to the other when H. I. H. Prince Takamatsu, third son of the late Taisho Emperor, and younger brother of the present ruler, weds Pincess Kikuko Tokugawa in March next year.

The bride-to-be is the scion of one of the noblest families of the Empire. She is a direct descendant of the once-proud Shogun Tokugawa, who actually if not nominally controlled the destiny of Japan during its period of feudalism before the restoration of power into the hands of Meiji Emperor. A young woman of exceptional talent, she is considered one of the most beautiful members of the peerage. She is a recent graduate of the Peeresses' School.

A stately mansion is now being constructed at Takanawa on the outskirts of the capital where the newly weds will make their home.

It will be completed within this year. After their wedding, the Imperial couple is expected to be off on their honeymoon in May to England.

Japanese Plan For Extensive Railway System in Brazil

RIO DE JANEIRO, (By U. P.)—The Japanese Company for Plantations in Brazil, in co-operation with the Federal Government of Brazil, is extensively farming its concession in the Amazon Valley region in the State of Para.

The Ministry of Agriculture has arranged to have films dealing with Brazilian farm life shown in all the Japanese villages in the concession. Research and studies of the climate and soil have been completed.

Japanese engineers, on their part, have made extensive plans for railway construction which is to be undertaken this year.

The Osaka Shosen Kaisha is collaborating with the corporation by facilitating the transport of immigrants and the exchange of products.

Official reports declare that already a great part of the region has been planted.

Japanese Tongue Makes Headway in Hermit Kingdom

SEOUL, June 24—Japan's efforts to diffuse the language of that country in Korea, part of the plan for complete absorption into the Empire, is making marked progress. Officials say that 974,000 Koreans speak the tongue. This is only 5 per cent of the population, but it is an increase of 100 per cent among the users of Japanese in ten years.

LOCAL MAN'S BODY FOUND IN OWN ROOM

Shoji, 50, Is Believed To Have Died 4 or 5 Days Ago

The body of Y. Shoji, 50, blieved to have died fou or five days ago, was found in a partially putrid condition in a room on the second story of the Tani Shoe Shop, 1509 Geary street, Monday morning. It was found by Mrs. S. Tani, wife of the proprietor of the store.

Shoji, who was a bachelor, was known to be a hard drinker at times, and it is believed that his death was due to excessive drinking of liquor. He is a native of Kanagawa prefecture in Japan, where his family resides. He was employed as a day worker.

GIRL CHOSEN Y W B A HEAD

Cabinet of Buddhist Society Consists Of 11 Members

Miss Eiko Enomoto, active Buddhist leader, was voted president of the San Francisco Y. W. B. A. at an election or officers held Friday evening at the local Temple on Pine street. The new cabinet consists of the following:

President, Eiko Enomoto; vice-president, Misao Hashimoto; Rec. secty., Masaye Morioka; corr. secty, Grace Suyenaga; treas., Matsuko Enomoto; assist. treasu., Kimi Matsumura; social chairman, Haru Enomoto and Mitsu Yoshimoto; ath. mgr., Lessie Suyenaga; relig. chairman, Teru Yoshimoto; Yell leader, Masako Matoi.

Following the election, a brief business session was presided over by the new president. Members decided to postpone their graduation party to some time in August out of deference to the memory of Shigeo Hagiwara, prominent Buddhist youth, who died Wednesday afternoon at Franklin Hospital. The party will be held in conjunction with the usual Buddhist reunion, which takes place just oefore the commencement of the fall school term.

Miss Itoko Tsukada, president of the Y. W. B. A. Federation of America, announced yesterday that a special cabinet meeting of that body will be held in Stockton on Friday, June 28. The principal business consists of mapping out a program for the coming Conference of Buddhist Sunday School teachers and Y. W. B. A. members, which takes place in Watsonville July 23 to 27.

Zepplin Expert Leaves Berlin For Japanese Capital

FRIEDERISCHAFFEN, Germany, June 24—Director Bauerle of the Zepplin Works left today for Tokyo to prepare for the arrival of the Graf Zepplin there on its cruise around the world.

Pasadena Recital Is Featured By Japanese Girls

PASADENA, June 24—Four Japanese girls, pupils of Erma M. Parker, instructor in piano, took part in a piano recital at Pasadena Shakespeare Clubhouse on the evening of June 15. Thirty girls and three boys took part in this presentation.

"The Dancing Lesson," by Fredricks, was played by Jessie Koyama, Miss Mari Shimanouchi played "Spring's Messenger", by Spindler, and her elder sister Ida, played "Etude" by Wollenhaupt. Sophie Tajima, one of the advanced students, played a piano duet with her instructor. The piece played was "Serenade" by Whelply. Sophie's solo number was "J'y Pense' by Meyer-Helmund.

T. Yatabe Talks Before Kiwanis Club Of Fresno

FRESNO, June 22—The moral code of Japan, in which justice, loyalty, truthfulness, courage, benevolence, self-control and honor are the chief features is something the American-born Japanese can add to other nations' contributions to the development of American civilization, Dr. T. T. Yatabe, Fresno dentist, told the Fresno Kiwanis Club at The Californian.

"Social training, ideas and customs of the American-born Japanese are entirely American, even extending to the use of current slang, but their physical make-up is entirely Japanese, so that it is hard for Americans to distinguish between them and their alien father and mothers.

"It is up to the second generation Japanese in America to create and foster a better understanding between the American and Japanese peoples," he said.

The program included an exhibition of Japanese wrestling and classical Japanese music played on the koto by Japanese girls.

Earl Robinson presided.

Miss Ichiyasu Is Voted President Of Silver Echoes

A dinner party held in the picturesque hall of Madrid Cafe by the Silver Echo Club was marked by an installation of its new officers Friday evening. The affair was a farewell party for the members who are about to disband for the summer season. The new officers include:

President, Maki Ichiyasu; vice-president, Elaine Oki; secty, Kaoru Miura; treas., Setsu Sasaki; inter-club rep., Sophie Abe; song leader, Saku Baba; forum chairman, Elaine Oki; service committee, Ritsu Nakashima; social chairman, Michi Nishimoto.

A short meeting at the Main Y. W. C. A. followed. Then the girls enjoyed a theater party to the Warfield. Miss Sumi Yamamoto, secretary of the Japanese Y. W. C. A., chaperoned.

TOKIO POLICE HEAD RESIGNS

Disclosure of Bribery Case Is Cause Of Resignation

Special to The Japanese American News

TOKYO, June 24—Mitsuo Miyata, chief of the Metropolitan Police Bureau, resigned today following recent disclosure that he had accepted a bribe of 78,000 yen from a notorious Tokyo figure and then returned it when he found that the check was a forgery.

Home Minister Mochizuki appointed Ryuichiro Nagaoka to succeed Miyata. Nagaoka was head of the Social Problem Bureau of the Home Ministry.

Japanese American News Manager Will Talk To Local Club

The final meeting of the Nichi-Bei Club for this semester will be held tonight (Tuesday) at the Japanese Y. M. C. A. on Sutter street starting at 8 o'clock.

The meeting is for the purpose of making definite arrangements for the Oriental tour, and as an informal farewell for the members who will make a trip to Orient on S. S. Taiyo Maru, leaving this port on July 3.

The all-important announcement regarding the proposed tour will be made, and S. Hara, manager of The Japanese American News, will be the main speaker.

Mrs. Yamamoto will be hostess of a tea party following the meeting.

The Nichi Bei Club tour party will today visit the S. S. Taiyo Maru which arrived here from Japan Monday morning, and take a group picture in their new uniforms on the deck of that liner.

The students will leave for Japan aboard this ship on her return trip from san Francisco after she has visited Southern California.

San Luis Obispo Gakuens To Give Show On June 29

SAN LUIS OBISPO, June 24—Pupils of the two Japanese language institutes, the Pismo and San Luis Gakuens, will present a benefit show on the evening of June 29.

The older people will aid the younger with a special number, the "flip-flap" Japanese odoris. The proceeds of the benefit will be used to build a new school building.

SUMMER DIARY

By A SACRAMENTAN

VACAVILLE, June 21—Sam and Tom was a team, and a very bad team, until Sam kicked Tom in the shin and were separated yesterday.

Sam is a male mule, and Tom is a female horse. The horse didn't seem to know that Tom is not a female name, and she didn't seem to care much about it anyway. She was too well satisfied with her life, and let the mule work all by himself. She just dragged behind. I got mad, so I threw an apricot at her belly. The horse jumped up a bit and that was all. Yesterday the mule got mad and kicked his partner good and hard. Blood streamed from the horse's leg. I felt bad.

I became sympathetic with the horse and felt like giving the mule a kick myself. Tom was taken into the barn, and another horse, a white one, took her place. The teamster calls this one Ken. Ken is a female and keeps the same pace with her partner Sam. Sam seems to like his new mate.

OUR WEEKLY GETS PRAISE FROM YOUTH

Magazine Will Appear On First Saturday Of Next Month

The Japanese American Weekly will make its appearance on the first Saturday in July.

This announcement has been met with many favorable comments from not only the first generation, but also from the young people as well. The new magazine will supercede our supplement and will be printed in clearer type on superior paper. There will be 12 attractive pages, four of them being in English.

From far away Scappoose, Oregon, comes this comment by Ernest S. Matsukawa, a subscriber, on our new project:

"The Japanese American News
"San Francisco, Calif.

"Gentlemen:

"I have been an enthusiastic reader of your great publication since last February, and my only regret is that I was not a subscriber until this year.

"Needless to say, I am one of the second generation, and in your newspaper I have the opportunity to read such columns as can not be seen in any other publication of a like nature. Insignficant as I am, I read with pleasure the achievements of the second generation especially in the educational institutions of the country. It is indeed an inspiration. It forecasts well, I think, of the certainty of their contribution to the general welfare of the future in all its respects.

"Also your columns with the news of Japan interests me much. My knowledge of the Japanese language being limited I am unable to derive the full benefit of the main columns but nevertheless I endeavor to read as much as possible. Such being the case, your weekly supplement has been invaluable to me, and your first page material was a delight.

"And so, as much as I regret the passing of the supplement, I am anxiously anticipating the appearance of the new weekly which I hope will be a greater publication than its predecessor.

"Very truly yours,
"Ernest S. Matsukawa"

Shinko Commercial School Champs To Come on Ball Tour

NEW YORK, June 24—(UP)—As a reward for having defeated eight contestants in the all-Japan secondary school baseball tournament, the championship baseball team of the First Shinko Commercial School of Kobe will make a tour of American Pacific Coast, according to announcement today by New York office of the Osaka Mainichi, the newspaper under whose auspices the tournament was conducted.

This will be the third time that a Japanese preparatory champion baseball team visits the United States.

Leaving Kobe in July, the team will land at Vancouver and then play exhibition games at various cities on its way to Los Angeles, the destination.

According to S. Suzuki, local representative of the Osaka Mainichi, the final games of the tournament, held near Osaka, are of greater interest to the young people of Japan than any other sporting event. The Japanese youths, he said, followed major league baseball news as keenly as American boys.

2 San Francisco Students Return From Year's Study

Yasuo Abiko, son of The Japanese Japanese American News publisher and formerly active member of the local Y. M. C. A., returned for his summer vacation Sunday from the University of Wisconsin. He is a student of the university's Experimental College.

Another San Franciscan to return is Miss Kimi Bepp, who arrived from Japan aboard Taiyo Maru, Monday. She went to Japan to complete her education.

Lynn Cowan Sings For 2 Japanese High Graduates

Misses M. Tsujisaka and Shizu Goto, graduates of Galileo and Commerce high schools, respectively, were honored at a party held Wednesday at the New Shanghai-Low. Lynn Cowan, the "Melody Man" of the Warfield Theater, honored the Japanese party by extending congratulations to the graduates and obliging them with a vocal solo.

THE WEATHER

OFFICIAL FORECAST:
TUESDAY—Fair. Generally cooler in Bay region and vicinity.

$1,000 in Cash Given Away!

To Readers of
The Japanese American News
and
L. A. Japanese American

In Astounding Contest

June 1 to August 31

The Japanese American News, always a guardian and helper of the second generation young people, has launched a huge plan to give away $1,000 in cash to our readers.

The project is one of the most attractive and astounding offers ever undertaken by any Japanese newspaper on the Pacific Coast.

The contest is open to ALL OUR READERS, regardless whether they are our subscribers or not.

Many of our readers are students, who would like to earn money during the summe vacation in order to carry them through the next school term. By a little industry they may win not only the cash prize but also the cash premium which goes with each subscription.

Here are the prizes in The Japanese American News subscription contest:

First Prize	$500
Second Prize	$250
Third Prize	$100
Fourth Prize	$ 50
Fifth Prize	$ 25
Sixth to tenth prizes, inclusive, $15 each	$ 75

Our contest involves no complicated rules. It is simplicity in itself. Here are the rules:

1. **The contest will be conducted on the point system. Contestants attaining the highest points win the prizes in their respective order.**
2. **Those desiring to enter the contest must send in the applications, together with three one-year subscriptions or six half-year subscriptions, to the Subscription Contest Manager. These applications may be sent either direct to The Japanese American News, 650 Ellis Street, San Francisco, or to one of the branch offices of this paper.**
3. **Each qualified contestant will be given 1,500 points to start with.**
4. **All subscriptions must be for either The Japanese American News of San Francisco or The Los Angeles Japanese American News, or both. The subscriptions must be PAID IN ADVANCE, and they MUST BE NEW SUBSCRIPTIONS.**
5. **From the fourth to the tenth subscriptions one thousand points will be given each one-year subscription. Two half-year subscriptions will count as one one-year subscription.**
6. **From the eleventh to the twentieth subscription, fifteen hundred points will be given each one-year subscription.**
7. **For all subscriptions above this number, 3,000 points will be given each one-year subscription, or 1,500 points for each half-year subscription.**
8. **Besides these points toward the prizes, cash premiums of $2 will be given for each one-year subscription or $1 for each half-year subscription.**
9. **The contest opens June 1 and closes on August 31.**

OUR JUNIOR SECTION

BIRTHDAY

June 25, Masako Morishima.

NEW MEMBER

Uki Harold Okimoto, Route 2, Box 67, Longmount, Colorado. Age 12, birthday January 11. Please excuse us Uki, if we have spelled your names incorrectly. We do not make out the writing quite surely, although it is really very beautiful. The first name is usually spelled "Yuki" and "Harold" is usually a boy's name, so we are puzzled.

Welcome to you!

——Junior——

C. M. O. of Route 1, Box 230, Acampo, California, sends us an excellent suggestion. It is that we have a story contest: that members send stories of their own experience, or anything, not more than a hundred words. It has already been planned that we have stories and other writings in the WEEKLY. But it seems a very good plan to have them in the daily also. What do you other members think of it? We shall write more of this later. Thank you, C. M. O.